



秋晴れの候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

前市長の買収事件に絡む辞任により、突然の市長選で、全国で2番目に若い市長が誕生しました。三原市が良い方向に進んでいくのか手腕が問われますが、経験不足をどう補っていくかが課題と言えます。

今回は、9月8日~9月30日で開催された令和2年第8回三原市議会定例議会の状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

## 1. 新市長への期待と不安

9月定例議会の初日に、岡田市長の所信表明がありました。市長の5つの重点項目は、①三原を「子育て支援・教育の先進地へ」としていく取組、②「暮らしに安心感をもたらす」取組、③「地域経済の活性化」に向けた取組、④「新たな三原市に向けた」挑戦、⑤「市民とともに進める地域の防災対策」への取組です。残念ながら、ICT(情報通信技術)を活用した行財政改革以外は具体性に欠き、概念的な所信表明で前市政を継承する内容でした。

市民が求めるものは、フレッシュさであり、若い発想と行動力ですが、政治経験が全くなく、また社会経験も少ないことから、**独自のカラーを出していくまでには時間が必要**かもしれません。

## 2. 9月定例議会一般質問で問う

9月の定例議会の一般質問では、(1)市長の所信表明について、(2)本市のシティプロモーション(自治体の営業活動)戦略について、質問を行いました。以下に、一般質問の概要を示します。

### (1) 市長の所信表明について

【質問】①市長の掲げるビジョンは、前市長とどこが違うのか。また、前市政のカラー一掃も宣言しているが、各政策の方向性や基本方針等の変更を行うのか。

②重点項目で中心市街地の再生や、歴史・文化を生かした「歩きたくなる街」を目指した環境づくりを謳っているが、具体的な構想はあるのか。

③庁舎内の人材育成を推進し、チャレンジする職員を育成することをあげているが、具体的にはどのようなことを考えているのか。 他

【答弁】①**現計画を変更することなく**、各施策の推進に取り組んで行く。

②現状進めている本町エリアからキオラスクエア、そして内港エリアまでの、心地よい景観を作るとともに、住む人も、来た人も歩いてみたくなるような街づくりを進める。

③従来の人材育成基本方針に従い取り組んで行く。また、昼食時間を利用して声を交わすことの少ない職員との対話等を通し、チャレンジ精神を喚起していきたい。 他

※ 新市長の当選当初の発言によって、2人の副市長が辞任しましたが、結局、天満市政で一番長く副市長を経験した池本氏を呼び戻すというチグハグな結果となっています。また、**所信表明では残念ながら個性的で具体的な新たな取り組みはなく**、今後のさらなる勉強と努力が必要と感じました。

### (2) 本市のシティプロモーション(自治体の営業活動)戦略について

【質問】①4月に広報戦略課が発足したが、ミッション(任務)と取組内容を問う。

②シティプロモーションは、「誰に」「何を」「どのように」売り込んでいくのかを定義し取り組む必要があるが、検討状況はどうか。 他

【答弁】①**市内外に本市の魅力を発信することを目的に**、情報発信を通じ、市民のまちへの愛着や誇りの醸成、**市外に向けて「魅力的なまち」であると知ってもらう認知度向上**に取り組んでいる。

②著名な山崎祥之氏と外部アドバイザー契約を締結し、若手職員を中心とした庁内横断的なプロジェクトチームを立上げて、全体計画の策定、情報発信等の企画の検討を進めている。他

※ 私は議員当選当初から、**選ばれる自治体を目指すため、シティプロモーション活動とそのための組織編制が必要であると提案して来ましたが、ようやく課の設置が叶いました。**本市の魅力を定義し、「誰に」「何を」伝えていくのかを明確にした営業活動の早期展開を期待しています。

### 3. トピックス



#### ◆ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事業について

本市の支援事業として、これまで第6弾までの緊急経済対策が打ち出されてきましたが、今回、**第7弾として地方創生臨時交付金 10億9585万1千円を限度とした活用事業**が行われます。主な対象事業は①家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、②「**新たな生活様式**」等への対応になります。これまで新型コロナウイルス感染症対策として主に国からの支援で約103億円を使っていますが、本市の財政調整基金（貯金）は約6億円を使うことになり、約48億円まで減少する見込みです。

#### ◆ 中央図書館、児童館ラフラフ、市民大学が駅前にオープン

駅前東館跡地で建設が進められていた図書館とホテル、商業施設、駐車場からなる“**キオラスクエア**”が7月にオープンしました。図書館は落ち着いた雰囲気、読書や勉強ができるようになっています。また、8月末にピアシティ西館2階に**新児童館“ラフラフ”**と3階に“**みはら市民大学**”が移転し、新たな駅前の顔が整いました。多くの市民の方の御利用をお願い致します。



(中央図書館1階入口)

### 4. 活動報告 & お知らせ

#### (1) 議会の政策討論会を経て、経済建設委員会提案政策が採択

経済建設委員会では、1年半に渡り中心市街地の活性化策を調査・研究して来ましたが、9月7日に開催された議会の政策討論会で、「**小早川隆景・浮城を活用した観光戦略**」を提案し、採択されました。今後、実行に向けて、関係団体と連携をしていきます。

#### (2) さぎしまフェリー航路の対応を協議中

土生商船株と市生活環境部、及び島民代表に私も加わり、経営悪化により提案されているフェリー航路の変更に関し、意見交換を行いながら運営会社と島民の納得がいく方向を多方面から協議しています。



(三原港のフェリー風景)

#### (3) 鷺浦小学校で宇宙メダカについて学ぶ

宇宙メダカ研究会メンバーの長岡美喜子さん（昨年、佐木島に移住）の働き掛けにより、8月末から鷺浦小学校で、「宇宙メダカ」の飼育が始まりました。9月9日には、長岡さんを先生に招き、子ども達が「宇宙メダカ」について学びました。

\*「宇宙メダカ」とは、1994年に向井千秋さんと宇宙に行った4匹のメダカの子孫のことです。三原市では既に幸崎中学校と木原小学校で飼育されています。



(宇宙メダカを観察する子ども達)

### 5. あとがき

6月30日の臨時議会で、天満前市長の辞任が議員全員一致で採択されました。参議院選の買収事件は、県内全体を揺るがす展開となっており大変残念に思いますが、立場が上になればなるほど、政治のしがらみの世界に足をを入れていくことになる恐ろしさを改めて感じました。私は、清廉潔白をいつまでも通していきたいと思えます。



#### 田中ひろき後援会

田中裕規

◇ プロフィール

- 1959年8月9日生

- 東京農工大学工学部大学院卒

- 元帝人(株)社員

<連絡先>

三原市港町三丁目16番13号

携帯: 090-7137-0440

FAX: 0848-64-8911

<https://www.tanakahiroki.info/>

<発行責任者> 武郷 康則